

事業計画書概要版

1 市民の平等な利用に関すること

(1) 管理運営基本方針

- ア 利用者目線に立ったサービス向上を図る。
- イ 安全・安心で快適な施設環境を提供する。
- ウ 条例・法令等を遵守し、適切な管理運営に努める。
- エ 公平・適切な管理運営に努める。
- オ 効果的かつ効率的な管理運営による経費節減に努める。
- カ 市民及びスポーツ団体等との連携を図る。
- キ 利用促進のための魅力的な事業を実施する。
- ク 利用者等の個人情報等を厳重に管理する。

(2) 平等利用を確保

- ア 利用者への対応に常に注意を払い、トラブルやダブルブッキングを防止する。
- イ 業務マニュアルや利用申し込みルールを明確にする。
- ウ クラブのホームページ等で利用者募集や施設情報を積極的に発信する。
- エ 個人情報保護マニュアル等を整備し、個人情報保護管理責任者を配置する。
- オ 介添えや筆談によるコミュニケーションなど、高齢者や障害者へ配慮する。
- カ 接遇マニュアルを整備し、相談や苦情等に迅速に対応する。

2 施設効用の発揮に関すること

(1) 利用の促進

- ・利用者アンケート結果を反映し、定期的に教室プログラムの見直しを行う。
- ・1130運動を推進するため、健康づくりがテーマの「ニュースポーツ体験会」を実施。
- ・まちづくり協議会、自治公民館等とのネットワークを活かし、連携した広報・PRを実施。
- ・スポーツキャンプや大会を通じて観光振興に寄与すべく都城観光協会や都城市スポーツコミッションと連携を強化。

②サービス・利便性の維持向上

- ・大会やイベントにより、開館時間外の利用申請があった場合は、市と協議の上で柔軟に対応。
- ・緊急連絡網を整備し、初動対応を迅速に行える体制を整備。
- ・利用者アンケートを毎月の課内会議等で共有し、サービスの向上に繋げる。

(3) 経済的な管理運営が図られ、経費配分が適正であること

①経費節減

- ・管理運営実績と経験をもとに管理業務の効率化を図り、各種システムや機器の導入による省力化を進める。
- ・過去の実績をもとに適切な経費配分をし、収支予算に反映している。
- ・月次で予算会議を開催。

(4) 事業計画に沿った管理を安定的に行う物的能力及び人的能力を有していること

①物的能力

- ・これまでに類似施設として、早水公園体育文化センター、都城運動公園、山之口運動公園の指定管理者であった実績がある。

②人的能力

- ・施設管理関係資格者として、公認上級スポーツ施設管理士1名、公認スポーツ施設管理士2名、甲種防火管理者7名、乙種第4類危険物取扱者3名、簿記2級2名がいる。
- ・スポーツ指導者系資格者は、公認アシスタントマネージャー4名、スクエアステップ指導員3名、ZUMBAインストラクター1名、貯筋運動講習修了2名、リズムステップインストラクター3名、ベーシックインストラクター1名の有資格者がいる。

(5) 地域に貢献する取組が確保されていること

①地域貢献

- ・平成19年2月から都城市を拠点に活動しており、都城市高城に本部を設置。
- ・ほとんどの職員が都城市在住であり、地域雇用を最優先に継続的雇用に勤める。
- ・子どもたちの人格形成に必要なルールを身につける取り組みや、生涯学習活動の支援、市民交流大会等を企画している。

(6) その他、公の施設を管理させるに当たり必要な基準

①公施設を活用することにより、地域を活性化する企画・提案がされているか

- ・キッズスポーツ教室や働き世代向けのイベント・プログラム、高齢者向けの健康寿命を伸ばすためのイベント・プログラムを実施し、健康長寿のまち「都城」を目指し、健康づくり・健康寿命を意識した運営・プログラムを提供する。

②スポーツキャンプの重要性の認識及び独自性のある取り組み提案がされているか

- ・プロスポーツキャンプ及び合宿について、地域経済や都城の認知度向上に寄与していることを理解しており、今後もキャンプ誘致を通じて「肉と焼酎のまち都城」を全国にアピールしていく。
- ・横浜FCやアルビレックス新潟、FC東京、コベルコ神戸スティーラーズ等キャンプ誘致団体との交流をさらに深め、指導者派遣事業等を実施する。